

津島市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定 第3回北小学校区懇談会 開催報告

新たな「地域福祉計画・地域福祉活動計画」を確認し 今後の活動を展望

■テーマ：「北小学校区における地区懇談会の成果と計画（案）を確認し
今後の地域福祉活動について話し合おう」

■日 時：平成 28 年 3 月 26 日（土）13：30～15：00 ■場 所：北コミュニティハウス

■参加者：計 15 名（参加者 9 名、事務局 6 名）

【開会、趣旨説明】

事務局の福祉課より、本日の会議の趣旨や検討テーマ、スケジュールについて確認しました。

今回は、新たに策定した「第2期津島市地域福祉計画・第3期津島市地域福祉活動計画」の概要を報告するとともに、北小学校区の「地区懇談会」の開催結果について説明しました。

続いて、平成 28 年度からの地域福祉活動の進め方と、そのために地区懇談会を継続することやコミュニティ推進協議会における体制づくりについて意見交換することを説明しました。



【「津島市地域福祉計画・津島市地域福祉活動計画」の概要説明】

「第2期津島市地域福祉計画・第3期津島市地域福祉活動計画」の、基本理念、基本目標と基本施策、重点的な取組み、計画の推進方法について、概要を説明しました。

また、計画書の参考資料として添付する「地区懇談会結果概要」を説明しました。

これに基づき、北小学校区における地域福祉課題を解決するための取組みアイデアを振り返って、今後の活動や体制づくりなどについて意見交換を行いました。

【今後の福祉活動のあり方や、体制づくり、地区懇談会の継続について】

今後の福祉活動については、この小学校区で特に重点的に進めるべきことについて意見を交換しました。体制づくりについては、地区社会福祉協議会の設立を目指すことについて、また、そのための土壌づくりとしてコミュニティ推進協議会において福祉部会を設置すること、あるいは平成 27 年度に 3 回開催した地区懇談会を今後も続けることについて話し合いました。あわせて、平成 28 年度に開催を目指す第 1 回の地区懇談会の時期についても検討しました。

意見交換の結果は、裏面のとおりです。

今後の福祉活動のあり方や、それを進めるための体制づくり、地区懇談会の継続

今後、取り組むべき福祉活動について

- ・孤立している高齢者の支援が大きな課題である。民生委員の支援を得るために登録していない人の把握が課題である。
- ・困っている人がいると知ることが必要である。また、困りごとに対する相談先がよく分からない。市なのか、社会福祉協議会なのか。

地域福祉活動を進めるための体制づくりについて

- ・福祉部会を立ち上げるとすると、民生委員の参加が必要である。
- ・民生委員の集まりがあるはずである。住民は民生委員が、どの町に、何人活動しているのか、誰が民生委員会かということを知らない。
- ・住民は、社会福祉協議会の活動についてもよく知らない。地区で社会福祉協議会の活動について学ぶことも必要である。
- ・住民は社会福祉協議会の会費を毎年払っていても、社会福祉協議会の活動について関心が低い。
- ・コミュニティ推進協議会における、福祉部会と地区社会福祉協議会の関係性について。

地区懇談会の開催について

- ・5月ぐらいに平成28年度第1回の地区懇談会を開催することを目指す。
- ・懇談会の参加メンバーについては、コミュニティ推進協議会で選ぶ。

【第3回地区懇談会でのご意見・ご感想(アンケート結果より)】

- ・今後のコミュニティのあり方、福祉のあり方について考える機会になった。
- ・福祉部会、地区社協の違いが分かった。
- ・出席者に民生委員が入っていると良かった。
- ・無理なくやれる活動なら何でも良い。難しいことは考えず、まず行動することだと思う。
- ・少ない出席者ではなかなか決定することはできないので、もっと人を集める必要がある。

